

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 留学報告書

学部学科・研究科専攻	文化社会学部・広報メディア学科		留学時学年	2年
留学先	国	カナダ	大学/機関	ブリティッシュコロンビア大学
期間	2025年1月5日 ~ 2025年3月25日			
	中期	計3ヶ月		

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名（受講科目・複数可）

- ・授業時間数：週 12 コマ
- ・科目名：EAP

時間	月	火	水	木	金	土	日
10:15~12:00	○	○	○	○	Free(CA)	Free	Free
13:00~14:45	○	○	○	○	Free	Free	Free
15:00~16:45	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

私は2ヶ月間 EAP というアカデミックイングリッシュをメインに勉強するコースをうけ、最後の3週間だけ Aspire というジェネラルイングリッシュをメインに勉強するコースを受けました。EAP はクラスメイトは流動的でしたが、13人から15人程度のクラスでした。半分弱が日本人、そのほかは韓国、中国、イラン、ベネズエラなど多様でした。Aspire は日本人向けのコースでひとクラス20人程度、中国人が1人と韓国人が2人、あとは日本人でした。EAP は高校の英語の授業や必修英語の授業のように、文章を読んだりリスニングをしたり、エッセイを書いたりすることがメインでした。一方で Aspire はスピーキング特化のコースで、基本的な文法や、プロジェクトをしながら英語でのコミュニケーション能力を身につけるといったものでした。

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 留学報告書

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

ブリティッシュコロンビア大学にある私が通った語学学校では、ブリティッシュコロンビア大学の本科に通う生徒によるCA(socio cultural assistants) というプロジェクトがあり、これは昼休みの時間や授業がない金曜日、または週末に、バンクーバーのダウンタウンに行ったり、ボランティアをしたり、ゲームをしたりするものです。私はこのプロジェクトに積極的に参加し、英語ネイティブである CA の人と話す機会を作ったり、語学学校の中での交友関係を広げたりしました。

また、わたしはブリティッシュコロンビア大学の音楽クラブに所属したので、そこで出会った友達と音楽セッションをしたり、ライブに出ることもありました。またブリティッシュコロンビア州の州都であるビクトリアや、スキーやスノーボードをしにグラウスマウンテンというゲレンデに行ったりしました。

2

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

Ams student nest

Irving K Barber Learning Center(図書館)

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋：1部屋 1人で使用

様子：私のホームステイ先はとても親切で素敵な家族でした。日本の実家で暮らすように、何不自由なく暮らしました。ホストファミリーは3人家族で、お父さんお母さんと娘さんが1人、あと犬と猫が一匹ずついました。ルームメイトは1から3人で、いずれも日本人でした。夜はマザーが作ってくれて、朝ごはんは自分でキッチンにあるものを好きに食べるシステムでした。

たまにホストファミリーが用事があると、一緒にダウンタウンに行ったり、ショッピングについていくこともありました。また娘さんがサッカーのチームに入っていたので、その試合を見に行くこともありました。

マザーの料理がとても美味しかったので、夕食はできる限り家に帰り、ファミリーと会話しながら食べました。ファザーのために誕生日パーティーをしたり、記念日や祝日を祝いました。

留学中、私の実の父が日本からバンクーバーに観光に来て、ホームステイ先にも訪問し、ホームステイファミリーに私の父を紹介できたこともいい思い出です。昔のホームステイ生がた訪ねてきて、一緒に夕食を食べたこともありました。

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 留学報告書

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

授業の時間も楽しかったし、良暇も充実して過ごせました。たくさんの人たちに出会い、バックグラウンドも全て違うので、いろいろな人の話を聞きながら、自分自身のことも見つめ直すことができ、良い機会だったと思います。

また、カナダならではの遊びもたくさん経験しました。例えば初めてナイトクラブに行ってみたり、スケートやスキーをしたり、週末は良く現地でできた友達とビーチにいったり運動したりおしゃべりしたりしました。これは一つのカルチャーショックだったのですが、バンクーバーに住んでいる人とはとにかく外に出ることが大好きなので、暇があるとビーチに行きました、毎日毎週のように。日本ではあまりそういう文化はないと思うので、とても新鮮でした。

● 苦労したこと：

正直ものすごく苦労をしたようなことは特にありません。強いていえば言語の壁だと思いますが、バンクーバーは国際的な都市で英語がネイティブではない人たちもたくさん住んでいるので、街中で自分の英語が伝わらなくても、相手も理解しようと努力してくれます。同じように周りの友達やホストファミリーも、英語が上手ではない人の対応は慣れていています。なので英語力に不安があっても怖がる必要はありませんでしたし、大きなトラブルや差別も受けずに、問題なく帰国しました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

もともとカタコトの日常会話はこなせるくらいの英語力で渡航しました。ただネイティブの会話のスピードについていけるほどではなく、中学英語の一番初めの方で習う文法がころうじて使えるレベルです。3ヶ月間で、とくにリスニングとスピーキングは飛躍的に向上したと思います。ネイティブに混じって不自由なく会話がこなせるくらいには成長しました。また EAP では実践的な文法を、Aspire ではネイティブのように話すための発音やアクセント、イントネーションを学ぶことができたので、それらの学習はスピーキング力向上にとっても役立ちました。

2) 専門知識の向上：

専門領域での留学ではなかったので、その面での学びはあまりありません。ただ3ヶ月間異国で過ごしたことで、自分の視野は確実に広がり、それはこの後続ける自分の専門領域での勉強に大きく良い影響を及ぼすと思います。

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 留学報告書

3) 自己成長など

初対面の人とコミュニケーションを取ることが苦手でしたが、留学を通して得意になったと思います。ホストファミリーや現地の友達をはじめ、バンクーバーに住んでいる人たちはとてもアグレッシブで、外交的で明るい性格の人が多いため、周りの人たちに習い自分自身の性格も自然と外交的になったと思います。ただポジティブになっただけでなく、人と関わるのがより楽しくなりました。また、何かストレスを感じたり、うまくいかないことがあったりしても自分で解決すること、ストレスを解消する方法を学びました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

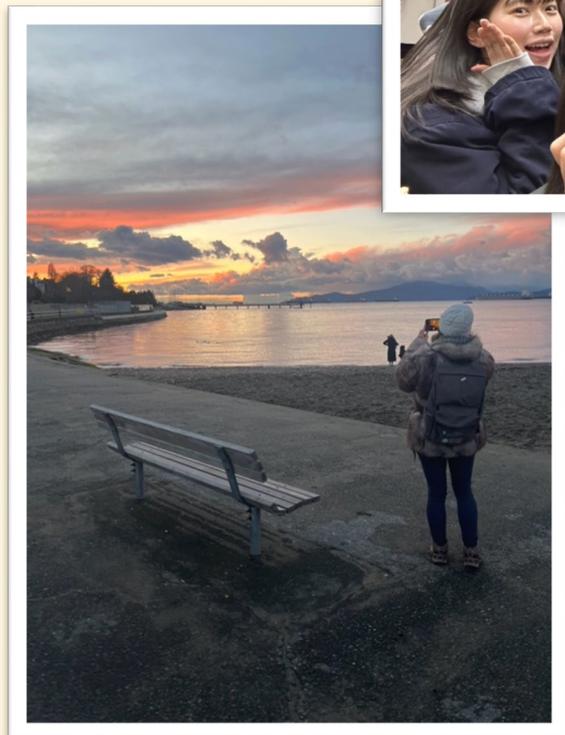
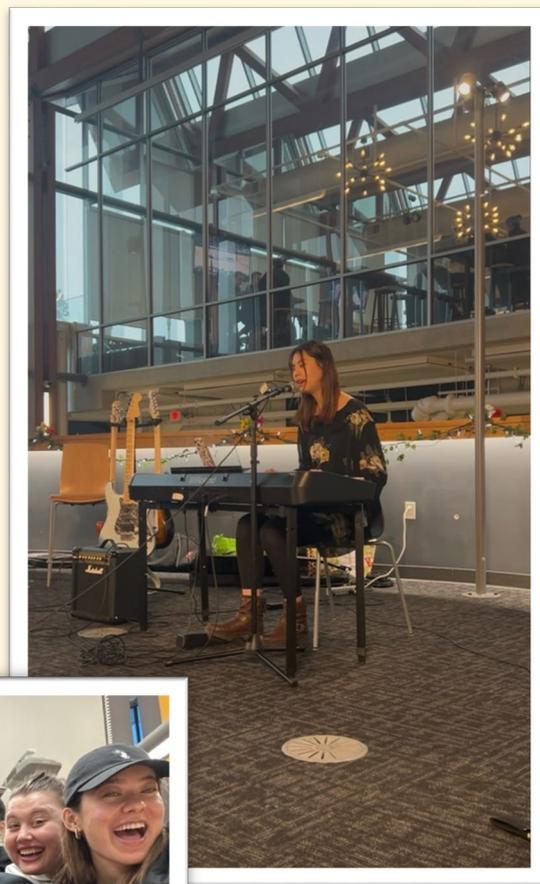
思い立ったが吉日、留学したいならどんな形であれ絶対にしたほうがいいです。人によって中期、長期で留学したいと思う人もいると思うのですが、仮に語学力や金銭的な余裕が足りずに短期になってしまったとしても、その経験は経験以上のものです。渡航前は不安も多いかと思いますが、何とかやっていけますし、どの国にも助けてくれる人は必ずいます。ほんの一時海外で生活するだけで、沢山の人の出会い、自分の人生の厚みがより深くなっていきます。迷っているなら1か月だけでも留学してみてください。何にも代えがたい時間が得られるはずです。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	70万円
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	3万円
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	10万
現地からの奨学金がある場合	なし（東海大学から10万円）
お土産代や個人的な買い物	20万
その他（自分で予約した飛行機チケット代　　）	28万
留学に関する費用の総額	140万

海外派遣留学生

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 留学報告書



海外派遣留学生

カナダ・ブリティッシュ・コロンビア大学 留学報告書

